

第 289 回競技委員会議事録

1. 日 時：2024 年 9 月 4 日（水）18 時 00 分～20 時 40 分

2. 会 場：四谷ブリッジセンター B1

3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 14、定足数 10、出席 13 で成立。

山後秀幸委員長、寺本直志、ロバート・ゲラー、斉藤千鶴乃、桜井雅子、久富健史、
吉田正、仲村篤志、正村祐一、浅越ことみ

Zoom で出席：山田和彦競技会事業担当理事、波多江隆児、石橋瑞己

欠席：宋逸寒

オブザーバー：貴戸祥郎

4. 議事の経過及び結果：山後秀幸委員長を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 クラブディレクター承認の報告

青木 ちなみ 224428 C-01229 神奈川県

中西 嘉江 227960 C-01230 神奈川県

岡田 志名子 244963 C-01231 神奈川県

第 2 号議案 飲酒規定の文章案について

事務局より JCBL 主催競技会における競技会中の飲酒についての規定文章案の提出があり、一部修正の上承認した。2025 年 HANDBOOK に掲載する。

第 3 号議案 各ワーキンググループからの報告

1) 規則要項 WG からの報告

- ・本年度のレッドリボン杯の制限を△ 1000 /△ 500 で合意したこと、四谷／大船／大阪の 3 会場で開催することの報告があった。△ 1000 の固定レッドポイントについて、18RP とする案の提出があり、これを承認した。
- ・地方クラブに対するヒアリングの結果から、全日本地域対抗選手権フライト B・C の制限を△ 2500 に変更することの報告があった。
- ・細田記念杯の開催について、地方クラブから以下の提案があり審議した。
 - (1) 最低テーブル数を 3 にするという提案に対して、現行案の 4 のまま変更しないこととした。
 - (2) ボード組込を担当する人も試合に参加できるようにするという提案に対して、事前申請の上 Dealer 4 のボードチェック機能を利用して組込を行う場合に限り認めることとした。
- ・朝日新聞社杯の試合形式見直しについては、2025 年の開催は現行通りとし、2026 年以降の開催内容を検討対象とするという報告があった。

2) リーグ WG からの報告

参加者が低迷しているクラブリーグについて、主催の四谷 BC・渋谷 BC は継続を希望しており、横浜 BC は継続にこだわらない状況であるという報告があった。

第4号議案 その他議案

- 1) 四谷 BC・横浜 BC より通信ゲームによるセクショナル STF ペアの申請があり審議した。競技会運営規則では STF は各フライトの対戦比率がなるべく等しくなるようにすることが定められているため、今回の申請については会場毎の参加者に対する下位フライトペアの割合の差が 20%以内に収まらない場合は、下位フライトのマスターポイントは会場毎に発行するという条件のもと、認めることとした。今後改めて規則要項 WG で規定について検討することとした。
- 2) IMP ペア、ミクストチームのナショナルゲーム新設の提案があり、規則要項 WG で検討することとした。
- 3) サロン参加者に少量のマスターポイントを発行する提案があった。またセクショナルのすべての参加者に少量のマスターポイントを発行する提案があった。それぞれ MPWG で検討することとした。

次回競技委員会は 2024 年 11 月 6 日（水）18 時 00 分からの開催を予定する。

以 上